第29回企画展

「山形県の近世城郭と出土品」展 令和3年9月11日(土)~12月5(日)

紹介動画は<u>こちら</u> 舘山城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u> 米沢城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u> 山形城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u> 新庄城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u> 鶴ヶ岡城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u> 亀ヶ崎城跡の展示ガイド動画は<u>こちら</u>



エントランス

ごあいさつ

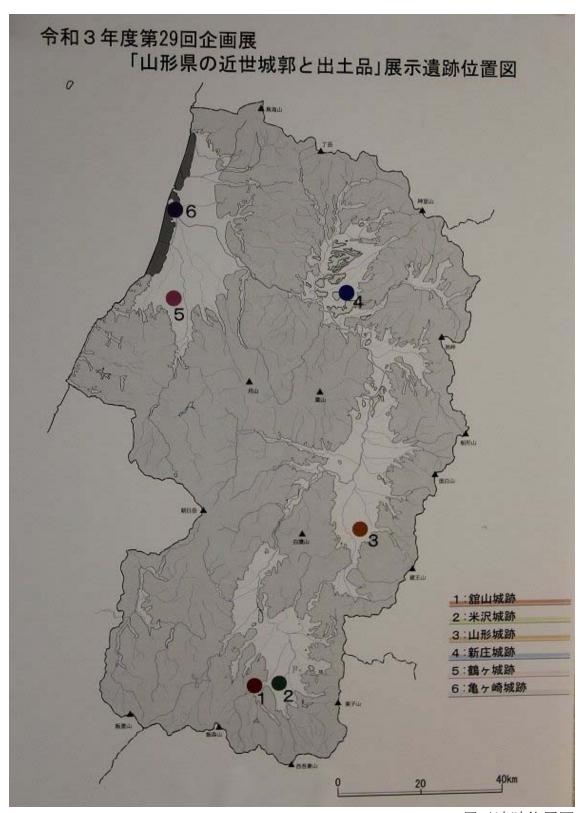
中世末から近世前葉、山形県域は全域で支配者の変更がありました。置賜地域は 伊達氏から上杉氏へ、現在の村山・最上地域は元和8年(1622)までは最上氏が支 配していましたが、改易後は山形に鳥居氏が、新庄には戸沢氏が入部しました。庄 内地域は上杉氏の支援を受けた武藤氏と最上氏の支援を受けた東禅寺氏(前森蔵 人)が戦い、天正14年(1587)に東禅寺氏が武藤氏を討ちますが、翌天正15年(1588) には十五里ヶ原の戦いで上杉氏の家臣本庄氏が東禅寺氏を破り、本庄氏の領地とな り、上杉氏の支配地となりました。慶長5年(1600)の関ヶ原後には最上氏の所領 となりますが、最上氏の改易に伴い、酒井氏が入部しました。

この激動の時代に焦点を当て、第29回企画展は「山形県の近世城郭と出土品」 と題して開催することと致しました。当該期に米沢、山形、新庄、鶴岡、酒田にあった中世末から近世前葉の城跡の発掘調査では、当時使われた陶磁器や木製品・金属製品・文字資料などが出土しています。これらの出土品を通じて、緊迫した激動の時代を振り返っていただきたいと思います。

今回の展示には、米沢市教育委員会、山形市、新庄市教育委員会、公益財団法人 山形県埋蔵文化財センターから貴重な資料をお借りいたしました。また、御協力と 御配慮を賜りました関係各位に厚く感謝申しあげ、御挨拶といたします。

> 令和3年9月11日 山形県立うきたむ風土記の丘考古資料館 館 長 渋 谷 孝 雄

> > ごあいさつ



展示遺跡位置図



慶長一分金



舘山城



舘山城跡と舘山東館の出土品



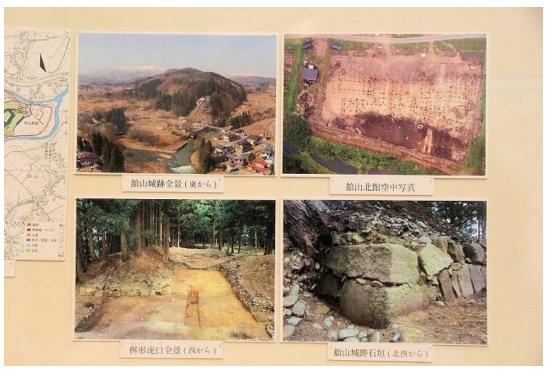
舘山東館の出土品



舘山北楯の出土品



舘山城跡パネル1



舘山城跡パネル2



米沢城二ノ丸跡の展示パネル



米沢城二ノ丸跡の伊達期の出土品

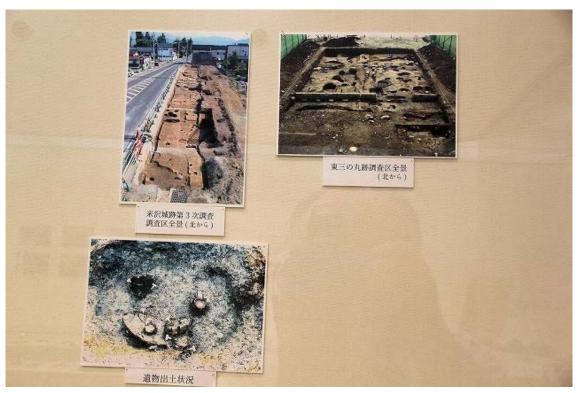


米沢城二ノ丸跡上杉期の出土品





米沢城二ノ丸堀跡の出土品



米沢城三の丸跡の展示パネル



米沢城三の丸跡の出土品



山形城本丸跡の展示パネル1



山形城本丸跡の展示パネル2



山形城本丸跡の出土品展示品全体



山形城本丸跡出土の鯱瓦



山形城本丸跡出土の金箔付鬼瓦



山形城本丸跡出土の文字瓦・絵瓦



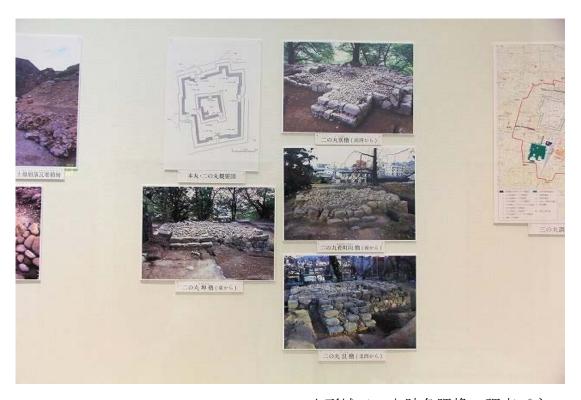
山形城本丸跡出土の鳥衾・軒丸瓦・軒隅平瓦



山形城本丸跡出土の金箔付軒平瓦・軒丸瓦



山形城本丸跡出土の 16~17 世紀代の陶磁器



山形城二ノ丸跡各隅櫓の調査パネル



山形城二ノ丸跡の出土品



山形城三の丸跡の調査パネル



山形城三の丸跡の出土展示品全体



山形城三の丸跡出土の 16 世紀~17 世紀前半の輸入磁器



山形城三の丸跡出土の 16~17 世紀初頭の陶器



山形城三の丸跡出土の 16 世紀末~17 世紀の国内産陶磁器



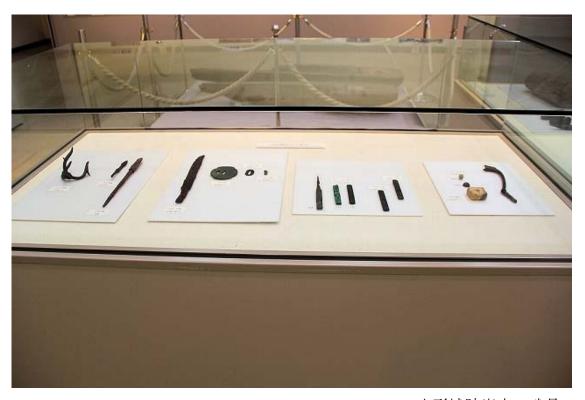
山形城三の丸跡出土の16世紀末~17世紀の国内産陶磁器と鍛冶道具用途不明品



山形城跡本丸大手橋の橋脚部材



山形城本丸大手橋周辺出土の工具類



山形城跡出土の武具



新庄城跡のパネルと出土瓦



鶴ヶ岡城跡の展示パネル



鶴ヶ岡城跡出土の15~17世紀の輸入磁器と国産陶磁器



鶴ヶ岡城跡出土の瓦・瓦器・漆器・木製品



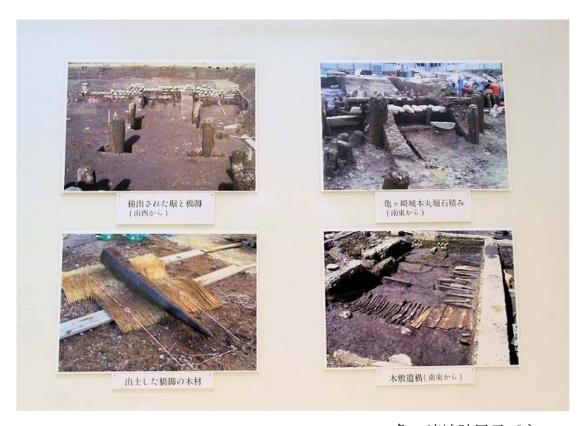
亀ヶ崎城跡出土品全体



亀ヶ崎城跡展示パネル1



亀ヶ崎城跡展示パネル2



亀ヶ崎城跡展示パネル3



亀ヶ崎城跡の輸入磁器と 16 世紀末~17 世紀初頭の国産陶器



亀ヶ崎城跡出土の16~17世紀初頭の陶器と茶道具・漆器



亀ヶ崎城跡出土の武具付け札等に書かれた文字資料(木簡)



武具搬入の付け札に書かれた文字資料(木簡)



亀ヶ崎城内で暮らす人々の生活用品等が書かれた木簡1



亀ヶ崎城内で暮らす人々の生活用品等が書かれた木簡2



亀ヶ崎城跡から出土した漁具や漁骨・貝・動物骨